

事例報告 H28-2

団体名： 一般社団法人 比良里山クラブ・大津市立志賀中学校（滋賀県）

プログラム名：山・里・湖、それぞれだけど、ひとつ。自然とともにある暮らしを感じ、つながってみよう！

(1) プログラムの目標	・地域の里地での自然体験を通して、人と自然の共生について考える。 ・豊かな自然と共に育まれてきた豊かな生活について学び、今後の暮らし方や生活エネルギーについて考え、環境保全を実践する態度を養う。 ・エネルギー教育モデル校の実践として、3年間のプログラムの一環として実施する。エネルギー教育、ESD教育の導入としての役割をもたせる。 ・総合的な学習の時間をつかった学習として、課題解決的な学習をさせる。 ・環境学習の中核となる学習として、関連する教科との事前・事後の連携を図る。
(2) プログラムの概要	・事前学習（年度によって内容は変更あり） ・学校に集合した後、校区内の6か所に分かれて移動する。 学校より徒歩で移動 1グループ 電車で移動 5グループ 電車で移動するグループは活動場所の最寄り駅で比良里山クラブの皆さんと合流 ・それぞれのグループで学習 ・お互いのグループの学習内容を交流する。（年度によって方法に変更あり） ・学級の各活動班で活動した内容・学んだことを新聞にまとめる。教室前に掲示した後、地域の公民館などに掲示。 ・エネルギーについての学習で、エネルギーと社会・環境のかかわりについて考えるための題材とする。

(3) プログラムの展開

時間数	プログラムタイトル	
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）
	i n (～の中で)、a b o u t (～について)、f o r (～のために) の視点で活動内容を区分	
3	事前学習 学習の目的・内容・計画の確認 事前学習 講演 活動の準備（グループ分け・役割分担） 事前指導	・学習のねらいを理解させる。 ・学習に興味を持たせ、地域を意識した活動であることを理解させる。 ・校外での学習に向けて、留意する点などを確認する。 ・各学級に全てのグループがあるようにする。
	a b o u t ー情報収集	
6	環境学習当日 6グループに分かれて活動場所へ移動 体験学習 見学・観察・講話・実技 学校へ帰って、活動のまとめ  写真説明 左上 自然との共存、水田の現状 エネルギーの変遷 左下 内湖の現状、湖岸の現状	・グループごとに行動する。 ・学んだことや感じたことなどをしっかり記録させる。 ・グループごとに学んだことを確認し、これからの地域と環境のかかわりについての課題を整理する。    
	i n ー体験、観察	

4	学習の共有とまとめ・発表		
	グループごとの学習内容の交流 グループごとにまとめた新聞制作 学級での発表会	・学級で全てのグループの学習内容を共有する。 ・まとめた新聞などを制作する。	
	a b o u tー情報交換 ・ f o rー提案		
エネルギー教育との連携			
理科 技術・家庭科技術分野 総合的な学習の時間		・森林とエネルギー ・地域の暮らしとエネルギー ・暮らしの中で使われてきたテクノロジー	
i nー観察、製作 ・ a b o u tー情報収集・分析、情報交換、討論 ・ f o rー提案、実践			
（４）プログラムでの連携内容 （教育機関、地域、団体等での、①連携・協働先、②役割分担、③具体的な連携・協働の内容）			
①比良里山クラブ ②当日、比良里山クラブの皆さんに講師として各活動場所での指導をいただき、学校教員は事前事後学習を指導するとともに当日の引率指導を行う。事前に担当者を中心に協議を行い、プログラムの詳細について打ち合わせを行う。 ③地域に関係の深い方からお話を伺うことで、地域の生活と環境のかかわりについて考えさせる。			
エネルギー教育モデル校の活動の一環として、資源エネルギー庁から活動に伴う援助をいただいている。			
（５）活動の分析（学習指導要領との関連または森林環境教育の視点） 上位３項目			
教科・項目、視点		学習内容	
多面的機能	エネルギーとしての森林生物との共存の場 里山・湖と森林のかかわり	・薪割り体験などを通して、エネルギーと暮らしの変遷とエネルギー源としての森林について考える。 ・森の生物との共存について、シン垣の補修などを通して考える。 ・湖、内湖、里山と森のかかわりについて知る。	
歴史・文化	暮らしの中での森の利用 古くからの暮らしの中でののかかわり	・森からの恵みを生かした生活について知る。 ・古くからの治水の知恵や、水と森のかかわりを知る。	
技術・家庭科技術分野	資源としての森林 木材・林業と生活のかかわり 世界の森林資源 再生可能エネルギー	・林業の現状を知り、木材資源の利用について考える。 ・木材と生活・文化とののかかわりを知る。 ・森林バイオマスや木材の有効利用技術について知り、今後の技術と社会・環境のかかわりについて考える。	
（６）活動の分析（資質・能力の視点）			
項目	ＥＳＤの要素（７つの能力・態度）の視点から、もっとも重視する視点の内容を記載		
①生きて働く「知識・技能」の習得	・多面的、総合的に考える力 「山・里・湖、それぞれだけど、ひとつ。」のテーマに象徴されるように、環境・生活・社会のかかわりを総合的にとらえ、多面的な視点をもって分析する能力を育成する。 滋賀県では水環境にかかわる環境学習が多いが、湖にとらわれず、生活環境を広くとらえるとともに、歴史的な経緯を知ることによって時間軸についても総合的に考える機会としたい。		
②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	・状況を分析し、自分が取るべき適切な言動について、自分で考え判断する態度と能力を育成する。特にエネルギー教育の観点からも、偏った報道や極端な意見を鵜呑みにして、思考を停止してしまいがちな社会のなかで、正しい知識をもとにした主体的な判断と、その表現・発信について学ばせていきたい。		
③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養	・環境にかかわる諸問題について、将来的に社会の意思決定にかかわるようになって時に、中学校で学んだ態度や考え方の礎は確実に役に立つ。また、環境や技術にかかわる問題が、時間とともに変わっていくことを予見し、学び続け、考え続けることの重要性についても理解させたい。		
（７）実施後、参加者の変化			
・身近な地域での活動であるが、生徒にとって初めて行く場所も多く、自分たちが生活する地域を深く認識することができた。 ・自然環境や生活の変異を意識することができ、現在の環境が変化なくずっとあり続けるものではないという事を強く感じた生徒が多かった。 ・現代社会のエネルギーについて考える学習とリンクをさせることで、地域で学んだことが地球規模での大きな問題につながっていることを認識することができた。			

大津市立志賀中学校

第一学年環境学習 人と自然の共生について考える

山・里・湖，それぞれだけど，ひとつ。
自然とともにある暮らしを感じ，つながってみよう！



比良里山クラブのみなさんと 校区内6か所に分かれての学習

Aポイント

森林エリアでの自然と人間の共存について 体験を通して考える

野生動物を知る
(防護柵)シシ垣の修理



Dポイント

残したい農村の自然と現状
水田の現状・自然と人との共生

地元の農産業・河川の状態を知る 石畳や石垣の製作



Bポイント

エネルギーの変遷を知り、自然と共にある
持続可能な暮らしに目を向ける

エネルギー源としての森林 薪割体験



Eポイント

山から湖に流れる水を通じて 内湖の役割や現状を知る

内湖の今昔・内湖と琵琶湖の成り立ちを知る
葦刈り



Cポイント

里山・村・湖ってどんなところ？
それぞれの暮らしの知恵を学ぶ

昔の農具と現代の農具
自然と共存するための知恵



Eポイント

近江舞子の湖岸の歴史 現状と課題

舞子浜の今後について考える 舞子浜フィールドワーク



資源エネルギー庁指定 エネルギー教育モデル校(平成26年度～28年度)
豊かな自然と豊かな生活のかかわりについて、テクノロジーから考えるエネルギー環境教育

自然環境を保全・保護するための知識・判断・行動にかかわる環境教育についての視野を広げ、人間が生活する環境全体に対する視野を持たせる。

自然の中で人々が培ってきたさまざまな生活技術に目を向けることを足掛かりにして、現代社会でのエネルギーの使い方について考察させ、さまざまなエネルギー関連技術が、環境を守ることに貢献していることを理解させる。



技術・家庭科技術分野 「材料と加工に関する技術」「生物育成に関する技術」「エネルギー変換に関する技術」

森林資源・木材資源・林業にかかわる学習
栽培技術・食と農、生活のかかわりに関する学習
エネルギー技術と社会・環境のかかわりに関する学習

木の漢字 世界の木材資源「ブナ」についての学習
植物工場 品種改良と遺伝子組み換え バイオエタノール
滋賀のエネルギー 放射線 エネルギーと情報

木の漢字

木札京本末米机朽束朱染初打机朴枋杏杆枰杆杞机扛杈杉杓杖条熏村
槐扶杜代末李圭袖枋校枉果级杰次摆杆梳果勾框扶棒并松委枕枋析框桐
梳束料把梯林板授批珍扶枋枋故棍吉仗来林伊杆拼担拖操架捆掏拐棍束
拐枸桔棍杷柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁柁

カシ・スギ・マツ・ブナ

ブナ林 撮影地 滋賀・福井県境 野坂山地

に注目！



A グループ

志賀中学一年環境学習



スタート前のアイスブレイク



石林へ出発する生徒達



シカの頭蓋骨を使った学習



シカが侵入した箇所の観察をした後、班に分かれて修繕作業

B グループ



エネルギーについての学習風景



薪割りを体験する生徒達



午後は体育館で、まとめ学習。
自分の体験を発表し合う感想や発見を全員でシェア。



動滑車(チルホール)を使った綱引。
1人対全員での対戦。

